

DENON

フルオートマチックターンテーブルシステム

DP-300F

取扱説明書

安全にお使いいただくために一必ずお守りください。

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- お読みになった後は後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

ご使用になる前に 2 ~ 5

接続のしかた 5

操作のしかた 6、7

その他について 8

ご使用になる前に

総目次

ご使用になる前に

付属品について	2
取り扱い上のご注意	2
保証とサービスについて	2
イコライザースイッチについて	3
組み立てかた	
ターンテーブルの取り付け	3
カウンターウエイトの取り付け	3
カートリッジ付きヘッドシールの取り付け	3
ダストカバーの取り付け	3
調整のしかた	
針圧・アンチスキージングの調整	4
各部の名前について	5

接続のしかた

操作のしかた

自動再生のしかた	6
手動再生のしかた	6
再生を途中で止めるには	6
レコード針の交換	7
カートリッジの交換	7

その他について

故障かな?と思ったら	8
主な仕様	8

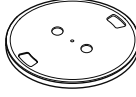
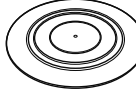
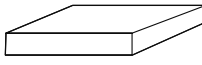
ステレオ音のエチケット



- 隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

付属品について

ご使用の前にご確認ください。

ターンテーブル (ベルト付き) 1 個 	ターンテーブルシート 1 個 
45 回転レコード用 アダプター 1 個 	カートリッジ付き ヘッドシール 1 個 予備リード線 1 組 
ダストカバー 1 個 	カウンターウエイト 1 個 
ヒンジ 2 個 	取扱説明書（本書） 1 冊 安全にお使いいただくために 1 枚 保証書【梱包箱に添付】

取り扱い上のご注意

■ 携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

■ お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

■ 結露（つゆつき）について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部）に水滴が付くことがあります（結露）。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1 ～ 2 時間放置してから使用してください。

保証とサービスについて

① 保証書について

この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

② 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

- 保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。
- ③ 保証期間経過後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。
- ④ 修理料金のしくみ
● 技術料・・・故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費・技術教育費・測定機器などの設備費・一般管理費などが含まれます。
● 部品代・・・修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
● 出張料・・・製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途駐車料金をいただく場合があります

⑤ 補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

⑥ 修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな?と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

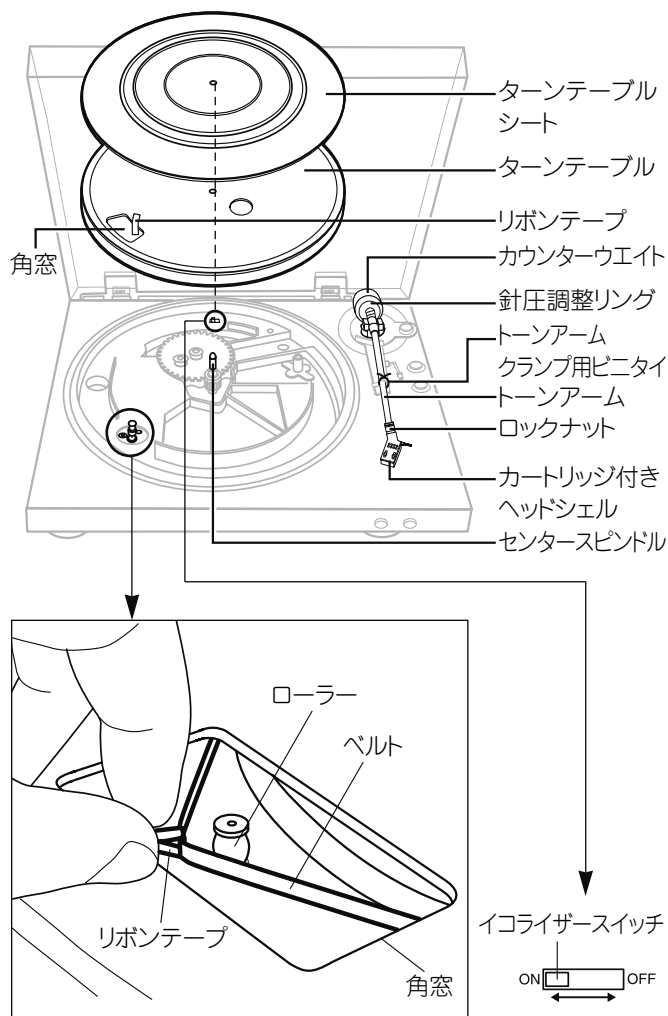
- 修理お問い合わせ窓口へご相談ください。
- 出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただきますこととなりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼されるときのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

⑦ 依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名・・・取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号・・・保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

⑧ お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただきます場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。



イコライザースイッチについて

本機はイコライザーを内蔵しています。
接続する端子によって、次のように切り替えてください。

OFF: PHONO 入力端子に接続する場合
(本機のイコライザーは使用しません。)

ON: PHONO 入力端子以外に接続する場合
(本機のイコライザーを使用します。)

メモ

- 工場出荷時、イコライザースイッチは“ON”になっています。ターンテーブルおよびターンテーブルシートを装着する前に必ず確認してください。
- イコライザースイッチが正しく設定されないと、音が極端に小さくなったり、歪んだりします。

組み立てかた

- 組み立てが完了するまで、トーンアームクランプ用ピンタイを外さないでください。
- 組み立てが完了するまで、電源コードは接続しないでください。

ターンテーブルの取り付け

- 1 ターンテーブルをセンタースピンドルに装着する。
- 2 ベルト掛け用のリボンテープがある方の角窓からローラーが見えるように、ターンテーブルを回す。
- 3 リボンテープをつまんで、ベルトをローラーの外側中央に掛ける。
 - ベルトを掛けたら、リボンテープは取り除いてください。
 - ターンテーブルを 5 ～ 6 回、ゆっくり回してください。ベルトがローラーの中央に掛かります。
- 4 ターンテーブルシートを装着する。

カウンターウエイトの取り付け

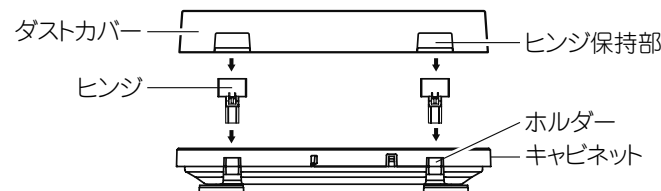
トーンアームの後部の軸に、カウンターウエイトを挿入し、ねじ込む。

※ 針圧調整リングを前面に向けて、取り付けてください。

カートリッジ付きヘッドシェルの取り付け

カートリッジ付きヘッドシェルをトーンアームに差し込み、ロックナットで固定する (P.7 ページ)。

ダストカバーの取り付け



- 1 付属のヒンジ 2 個をキャビネット後部のホルダーにしっかり差し込む。
- 2 ヒンジにダストカバーのヒンジ保持部を装着する。
 - 矢印の方向に十分押し込んでください。
 - ダストカバーを取り外す場合は、ダストカバーを全開にしてから、矢印の反対方向に引き抜いてください。

メモ

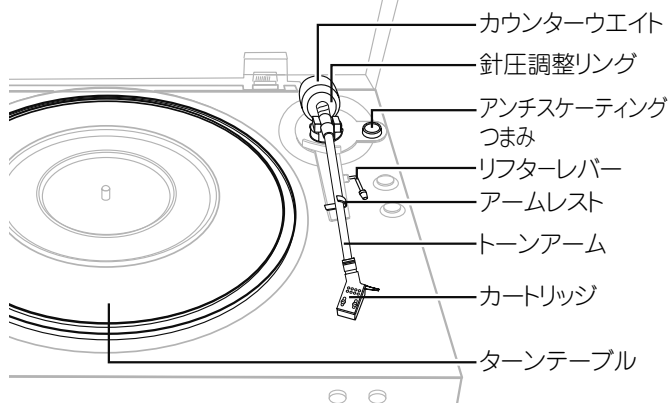
- ダストカバーの取り付け・取り外しは、ヒンジ保持部の近くを持ってこなってください。

組み立てが完了したら、トーンアームクランプ用ピンタイを外す。

《ご使用になる前に》

調整のしかた

調整をおこなうときは、電源を切ってください。



針圧・アンチスケーティングの調整

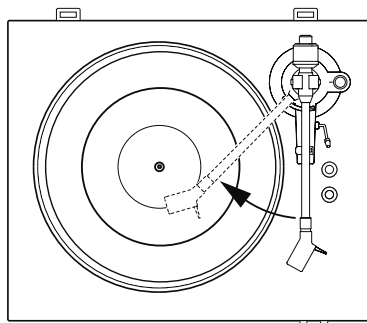
ご注意

針先をターンテーブルシートなどで傷つけないように、十分注意してください。

1 アンチスケーティングつまみの目盛りを“0”に合わせる。

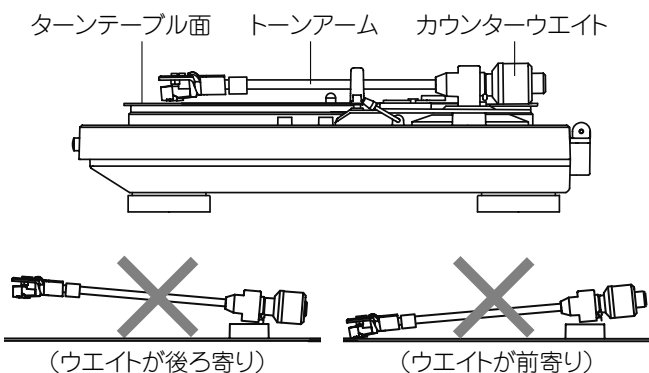
2 リフターレバーを下げて、トーンアームをターンテーブルの上まで移動させる。

※ 針カバーを取り外せるカートリッジの場合は、針カバーを取り外してください。



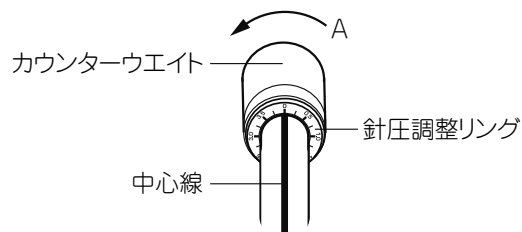
3 水平バランスをとる。

- カウンターウエイトを前後させ、手を離れたときにトーンアームとターンテーブル面を平行にします。



4 トーンアームをアームレストに戻す。

5 カウンターウエイトを動かさないように指で支えながら針圧調整リングを回し、針圧調整リングの“0”表示をトーンアーム後部軸の中心線に合わせる。



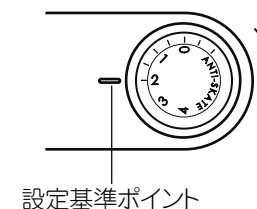
6 カウンターウエイトを矢印 A の方向に回し、カートリッジの適正針圧値に設定する。

※ 付属カートリッジの適正針圧は、2.0g (19.6mN) です。“2”に合わせてください。

《ご使用になる前に》

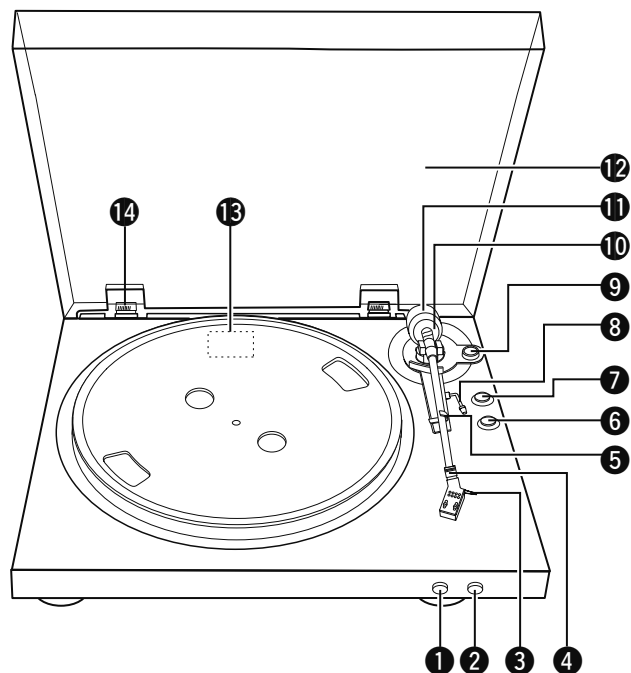
7 アンチスケーティングつまみを回し、カートリッジの針圧と同じ数値に設定する。

- 適正なアンチスケーティング量が得られます。



各部の名前について

各部のはたらきなど、詳しい説明については（ ）内のページを参照してください。



- | | |
|--------------------------------------|---------------------------------|
| ① START ボタン (6) | ⑦ SPEED ボタン (■45/■33) (6) |
| 再生を開始します。 | 再生するレコードの回転数に合わせます。 |
| ② STOP ボタン (6) | ⑧ リフターレバー (4) |
| 再生を停止します。 | ⑨ アンチスケーティングつまみ (4) |
| ③ 指かけ | ⑩ 針圧調整リング (4) |
| ④ ロックナット (3)、(7) | ⑪ カウンターウエイト (4) |
| ⑤ アームレスト | ⑫ ダストカバー (3) |
| ⑥ SIZE ボタン (■17/■30) (6) | ⑬ イコライザースイッチ (3) |
| 再生するレコードのサイズ (30cm または 17cm) に合わせます。 | ⑭ ダストカバーヒンジ (3) |

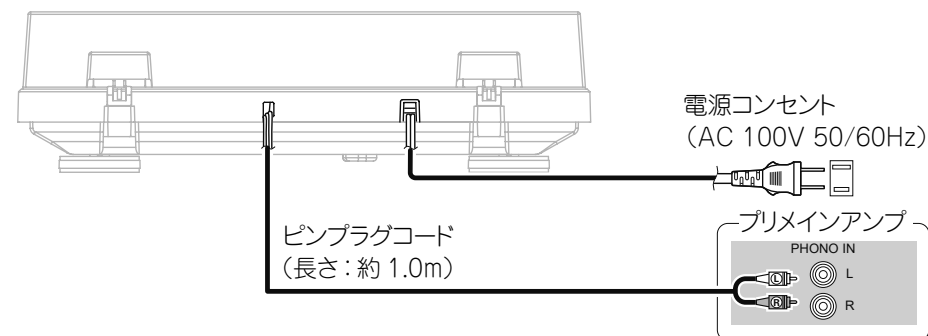
接続のしかた

ご注意

- 本機を接続する機器の電源を切ってください。本機の電源プラグはすべての接続が終わるまでは、コンセントに差し込まないでください。
- すべての接続が正しいことを確認してから、本機の電源プラグをアンプの AC アウトレット、または家庭用 AC コンセントに接続してください。

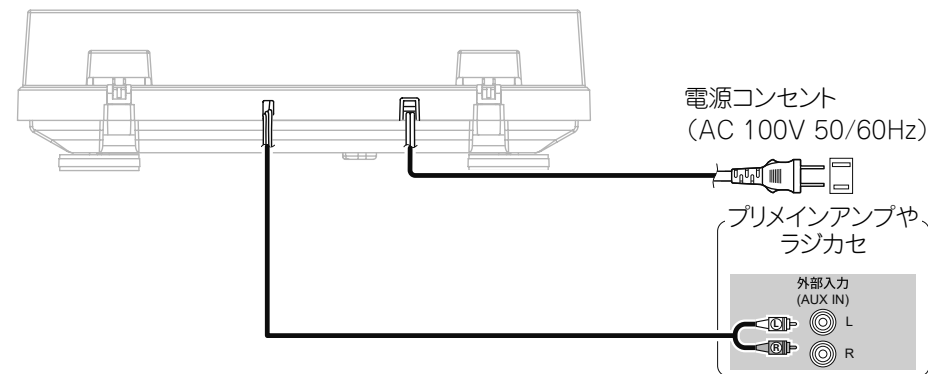
■ PHONO 入力端子に接続する場合

イコライザースイッチ：OFF (P.3 ページ)



■ PHONO 入力端子以外の端子に接続する場合

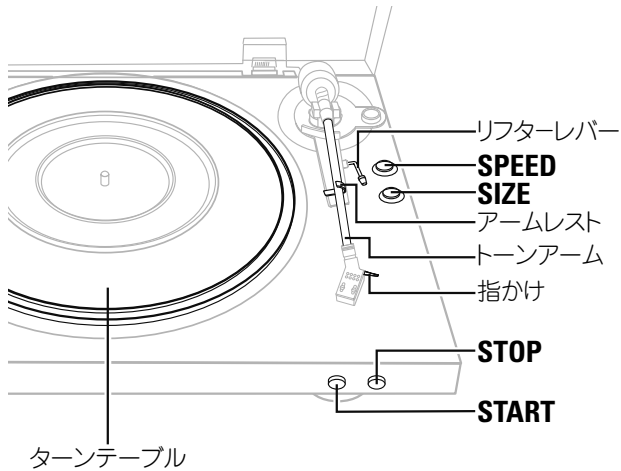
イコライザースイッチ：ON (P.3 ページ)



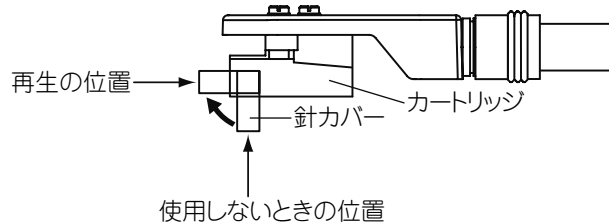
メモ

- 電源コードを接続したときに、プレーヤーが動作し始めた場合は、**STOP** ボタンを押してください。

操作のしかた



■ 針カバーの開けかた



自動再生のしかた

再生の前に、針カバーを上げてください。

1 レコードをターンテーブルの上に載せる。

※ EPレコード（ドーナツ盤）を再生するときは、45 回転アダプターを使用してください。

2 SPEED で、レコードの再生スピードを合わせる。

※ 45 回転レコード：.....■ 45 に合わせる
33-1/3 回転レコード：.....■ 33 に合わせる

3 SIZE で、レコードのサイズを合わせる。

※ 17cm レコード：.....■ 17cm に合わせる
30cm レコード：.....■ 30cm に合わせる

4 START を、約 1 秒間押す。

- ターンテーブルが回転をはじめ、自動的に再生をはじめます。
- 再生が終わると、トーンアームが元の位置に戻り、ターンテーブルの回転が自動的に止まります。

メモ

- 再生終了後は、針先保護のため針カバーを下げてください。
- 本機にはレコード再生終了後、特定のポイントでトーンアームを自動的に戻す「オートリターン機能」が付いています。普通サイズのレコードについては問題ありませんが、このポイントまで音の溝が続いているレコードについては、オートリターン機能が働き最後まで再生できません。

ご注意

- 再生中は、トーンアームやターンテーブルに触れたり、電源を切ったりしないでください。
- 25cmレコードは自動再生システムを使用することができません。この場合は手で操作してください。また、再生終了後にトーンアームが戻らない場合は、**STOP**を押してください。

手動再生のしかた

1 レコードをターンテーブルの上に載せる。

※ EPレコード（ドーナツ盤）を再生するときは、45 回転アダプターを使用してください。

2 SPEED で、レコードの再生スピードを合わせる。

※ 45 回転レコード：.....■ 45 に合わせる
33-1/3 回転レコード：.....■ 33 に合わせる

3 リフターレバーを上げて、ヘッドシェルの指かけを持ちトーンアームを再生したい曲の開始位置まで移動させる。

4 リフターレバーを下げる。

- トーンアームがゆっくりと降下し、針先がレコード盤において再生をはじめます。

ご注意

レコードに傷をつけないように注意してください。

再生を途中で止めるには

STOP を押す。

- 再生が止まり、トーンアームが元の位置に戻ります。

※ リフターレバーを上げて、再生を中止することもできます。この場合はヘッドシェルの指かけを持って、トーンアームをアームレストに戻してください。

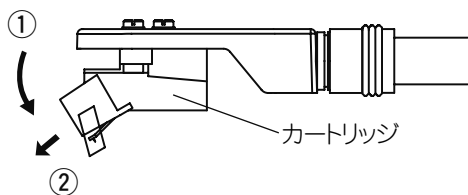
レコード針の交換

付属の針の寿命は約 400 時間です。大切なレコードをいためな
いよう、早めに交換してください。

交換針は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口に
て、DP-300F 専用交換針「DSN-85」をご指定のうえ、お買
い求めください。

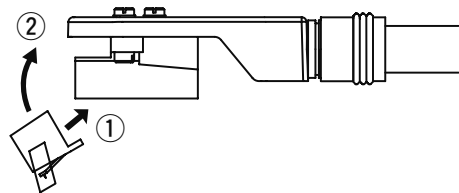
■ 交換針の取り外しかた

一方の手でカートリッジを支え、他方の手で交換針を持ち、矢印
① の方向に押し下げてから矢印 ② の方向にやさしく引き抜いて
ください。



■ 交換針の取り付けかた

一方の手でカートリッジを支え、他方の手で交換針を持ち、交換
針の引っ掛け部分を矢印 ① の方向に向けてカートリッジ本体の
長穴の奥に入れた後、矢印 ② の方向にパチンというまで押し上
げてください。



メモ

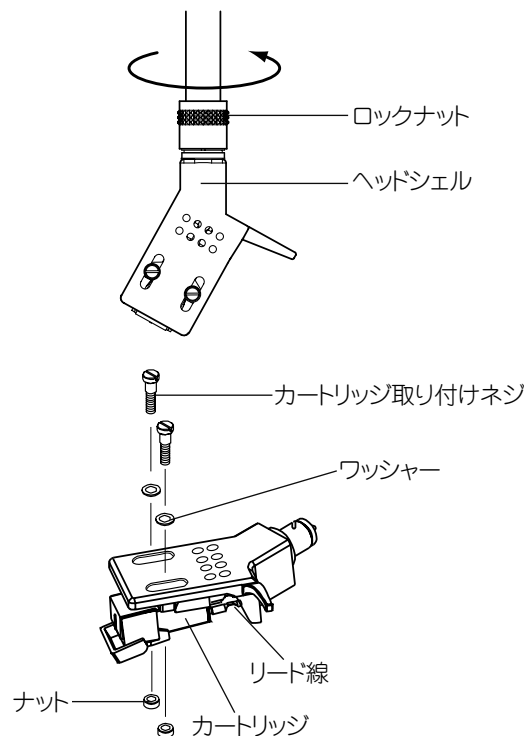
- 針を交換する前に、アンプの電源を切り、プレーヤーの電源ブ
ラグをコンセントから抜いてください。
- 針先は非常に繊細にできていますので、取り扱いには十分ご
注意ください。針先のゴミは柔らかいブラシなどで軽く取り除
いてください。
- ヘッドシェルを外すと針の交換がしやすくなります。

カートリッジの交換

このプレーヤーに別のカートリッジを取り付ける場合は、質量が
約 4.5g ~ 9.5g (約 44mN ~ 93mN) のものをお使いください。
ヘッドシェルのみお買い求めになる場合は、お買い上げの販売店
またはお近くの当社修理相談窓口にて、DP-300F 専用ヘッドシェ
ル「PCL-310SP (シルバー) / PCL-310BK (ブラック)」を
ご指定ください。

■ カートリッジの外しかた

1. ヘッドシェル固定ロックナットを矢印方向に回して、ヘッドシェ
ルを外します。
2. カートリッジ取り付けネジを外します。
3. カートリッジ側のリード線を外します。



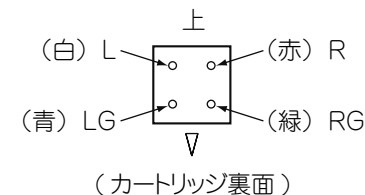
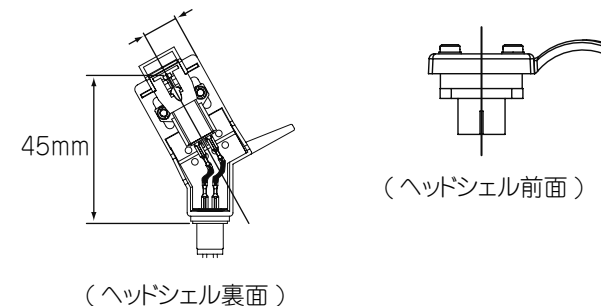
■ カートリッジの取り付けかた

1. リード線を接続します。リード線の色分けは次のようになって
います。間違いないように注意してください。
赤……右チャンネル (R)
白……左チャンネル (L)
緑……右チャンネルアース (RG)
青……左チャンネルアース (LG)
2. 下図のように針先がヘッドシェル取り付け端面 (ゴムワッシャー
部) より 45mm の位置に針先がくるように取り付けると所定
のオーバーハングが得られます。(このプレーヤーのオーバー
ハングは、19mm です。)

メモ

- カートリッジを交換した場合は、水平バランス・針圧・アンチス
ケーティングの調整を忘れずにおこなってください (P.4 ペ
ージ)。
- 交換するカートリッジによっては、端子の太さが異なるため、
確実に接続できないものがあります。その場合は付属の予備
リード線をお使いください。

平行に取り付けてください 垂直に取り付けてください



その他について

故障かな?と思ったら

■ 各接続は正しいですか

■ 取扱説明書に従って正しく操作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。

なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

もし、お買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、当社のお客さま相談窓口またはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

現 象	原 因	処 置	関連ページ
電源が入らない。 ターンテーブルが 回転しない。	● 電源コードの差し込みが不完全。 ● ドライブベルトがターンテーブルから外れている。	● 接続を確認してください。	5
		● ドライブベルト、ドライブングローラーを確認してください。 ● ドライブベルトがターンテーブルから外れているときは、次の手順で取り付けてください。 1. ターンテーブルを外し裏返す。 2. 内部の円周にベルトを掛ける。 3. ターンテーブルを表にして穴からターンテーブルとドライブベルトの間にリボンテープを通す。 4. 3 ページの組み立てかたを参照して、ターンテーブルを取り付ける。	3
音が出ない。	● ピンプラグコードが正しく接続されていない。 ● アンプのファンクションが本機を接続したファンクションに設定されていない。 ● 交換針が正しく取り付けられていない。	● 接続を確認してください。	5
		● アンプの設定を確認してください。	5
		● 針を確認してください。	7
スクラッチノイズが生じる。針が飛ぶ。 歪んだ音が出る。	● 針またはレコードが汚れている。 ● 針が磨耗したり、レコードに傷が付いている。	● 汚れを取るか、針を交換してください。	7
		● 針を交換してください。 ● レコードを確認してください。	7 —
音が極端に小さい。 音が大き過ぎて歪む。	● イコライザースイッチが正しく設定されていない。	● 接続する端子に合わせて、スイッチを切り替えてください。	3
ハウリングが生じる。	● プレーヤーがスピーカーに近すぎる。 ● プレーヤーが不安定な場所に置かれている。 ● 再生音が大きすぎる。	● プレーヤーとスピーカーを離してください。	—
		● プレーヤーの設置場所を確認してください。	—
		● アンプの音量を調整してください。	—

現 象	原 因	処 置	関連ページ
START ボタンを押してもトーンアームが動かない。	● トーンアームがアームレストにクランプされている。 ● 電源コードが正しく接続されていない。	● トーンアームのクランプをはずしてください。	3
		● 電源コードの接続を確認してください。	5

主な仕様

動作温度：	+5℃～+35℃
電源：	AC100V 50/60Hz
消費電力：	2W（電気用品安全法による）
最大外形寸法：	ダストカバーを開いたとき： 434（幅）×122（高さ）×381（奥行き）mm（フットを含む） ダストカバーを開いたとき： 434（幅）×386（高さ）×413（奥行き）mm（フットを含む）
質量：	5.5kg
駆動方式：	ベルトドライブ
モーター：	DC サーボモーター
回転数：	33-1/3rpm、45rpm
ワウ・フラッタ：	0.10% W.R M S
S/N 比：	60dB
トーンアーム：	スタティックバランス ストレートパイプ型トーンアーム
アーム有効長：	221.5mm
オーバーハング：	19mm
カートリッジ：	MM 型
出力電圧：	イコライザー OFF：2.5mV イコライザー ON：150mV
最適針圧：	2.0g（19.6mN）
交換針品番：	DSN-85
針圧可変範囲：	0～4.0g（0～39.2mN） 1目盛り0.1g（0.98mN）
適合カートリッジ自重：	4.5～9.5g（44mN～93mN）
ヘッドシェル質量：	10.0g（98mN）（ネジ、ナットを含む）
ヘッドシェル品番：	PCL-310SP（シルバー）/PCL-310BK（ブラック）

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。
必ず AC100V のコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。





メモ



メモ



メモ

製品のお問い合わせ / 修理のご相談

 0570 (666) 112 または 050 (3388) 6801

受付時間 10:00 ~ 18:00
(当社休日および祝日を除く、月～金曜日)

お客様相談センター

メッセージが流れますので、1 を選択してください。

■ お問い合わせをいただく前に、ホームページの FAQ をご確認ください。

<https://www.denon.jp/ja-jp/support/home>

■ メールでお問い合わせをいただくこともできます。

<https://www.denon.jp/ja-jp/contact-us>

お客様相談センター FAX : 044 (330) 1367

修理相談窓口

メッセージが流れますので、2 を選択してください。

■ 故障・修理・その他のサービス関連情報については、次の当社ホームページでも
ご確認ください。

https://www.denon.jp/ja-jp/support/service_network

■ 代表修理窓口

首都圏サービスセンター

〒 243-0021 神奈川県厚木市岡田 3050 厚木アクストメインタワー 21 階

FAX : 050 (3364) 5227

* ディーアンドエムホールディングス本社では製品の修理を受け付けておりません。
お持ち込みいただいても受け取ることができませんのでご了承ください。

DENON®

株式会社 ディーアンドエムホールディングス

〒 210-8569

神奈川県川崎市川崎区日進町 2 番地 1 D&M ビル

Printed in China 5411 11362 30AS